

2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2025年8月



日本金銭機械株式会社

東証プライム市場 / 証券コード：6418

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

新紙幣改刷需要の一巡により、新紙幣発行前の売上推移に 前年同期比では減収減益

■ 売上高

グローバルゲーミング

北米地域においてゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットの販売が増加

国内コマース 遊技場向機器

新紙幣発行に伴う更新特需の反動により当社製品の販売が減少

■ 営業利益

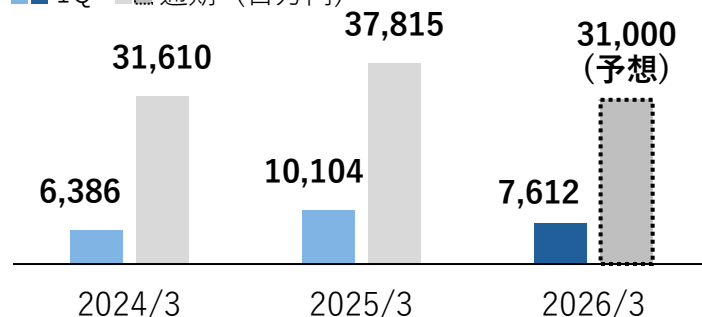
売上高の減少、新規開拓市場向けを含む新製品の研究開発投資等により、営業利益は減少

売上高

7,612 百万円

前年同期比
24.7%減

■ 1Q ■ 通期 (百万円)

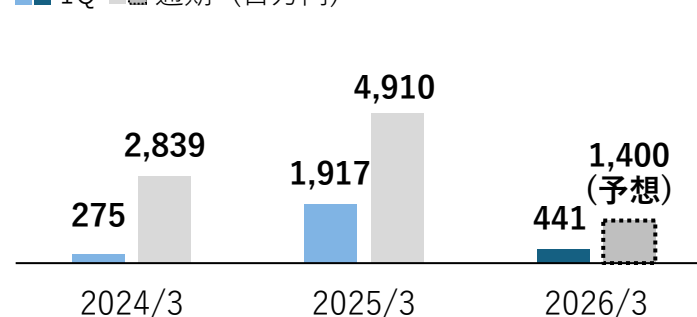


営業利益

441 百万円

前年同期比
77.0%減

■ 1Q ■ 通期 (百万円)

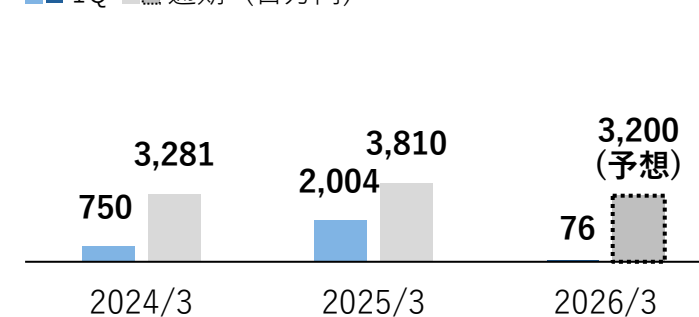


当期純利益

76 百万円

前年同期比
96.2%減

■ 1Q ■ 通期 (百万円)



■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

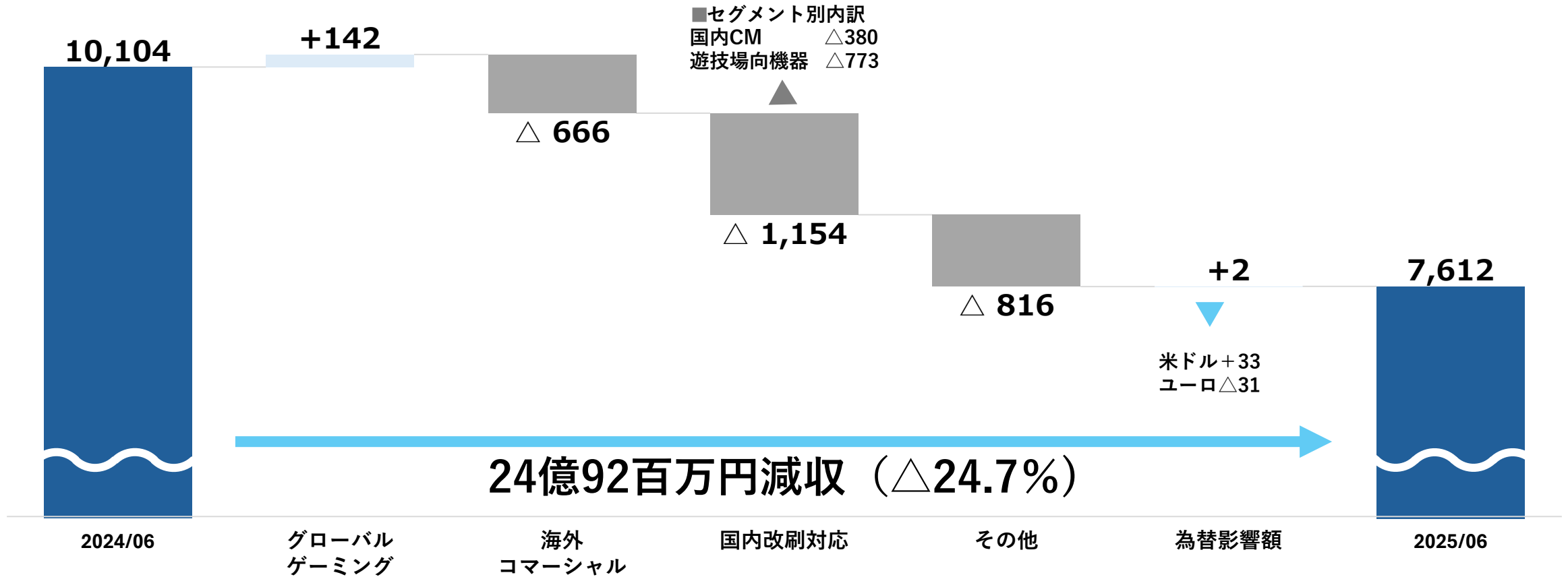
- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

単位：百万円	2025/3 1Q		2026/3 1Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	10,104	100.0%	7,612	100.0%	△ 2,492	△24.7%
営業利益	1,917	19.0%	441	5.8%	△ 1,476	△77.0%
経常利益	2,377	23.5%	261	3.4%	△ 2,116	△89.0%
四半期純利益	2,004	19.8%	76	1.0%	△ 1,927	△96.2%
1株あたり四半期純利益	73.34円		2.83円		△ 70.51円	
平均為替レート	米ドル	149.90円	151.22円	+1.32円		
	ユーロ	162.27円	159.38円	△2.89円		

単位：百万円

■主な増減要因

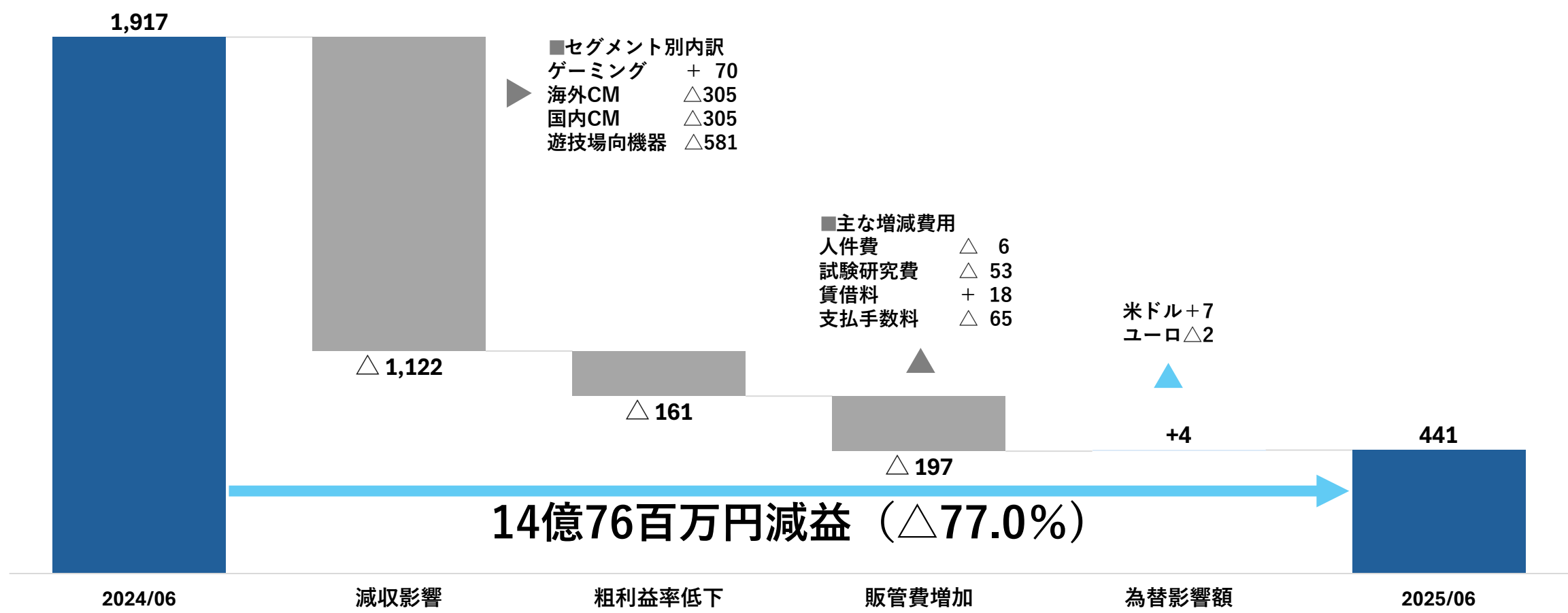
- ・ゲーミングマシン搭載用の製品が北米において堅調に推移
- ・国内では、新紙幣発行に伴う更新特需の反動により当社製品の販売が減少



単位：百万円

■主な増減要因

- ・売上高の減少、新規開拓市場向けを含む新製品の研究開発投資等により、営業利益は減少



■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

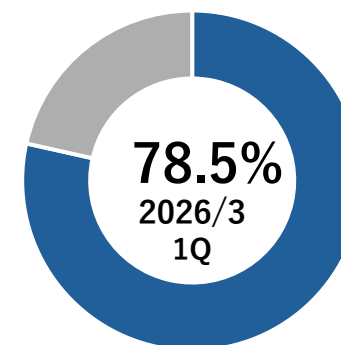
■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

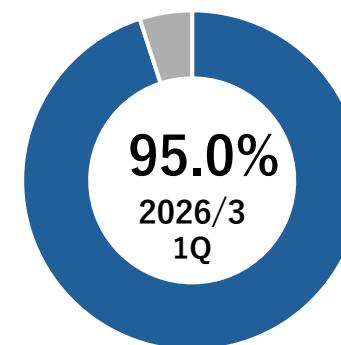
単位：百万円	2025/3 1Q	2025/3 2Q	2025/3 3Q	2025/3 4Q	2026/3 1Q
売上高	10,104	11,149	9,076	7,485	7,612
グローバルゲーミング	4,780	5,904	5,710	5,082	4,937
海外コマース	1,716	1,720	1,167	1,103	1,037
国内コマース	1,327	1,094	892	491	648
遊技場向機器	2,280	2,429	1,304	809	988
セグメント利益	1,917	1,837	1,047	107	441
グローバルゲーミング	1,067	1,220	1,310	770	1,060
海外コマース	△ 109	△ 63	△ 238	△ 155	△ 335
国内コマース	567	387	176	16	65
遊技場向機器	683	705	147	△ 99	△ 27
調整額 (各セグメントに配分していない全社費用)	△ 290	△ 412	△ 348	△ 424	△ 321

海外売上高比率



(2025/3 1Q 64.3%)

海外営業利益比率



(2025/3 1Q 43.4%)



■事業概要

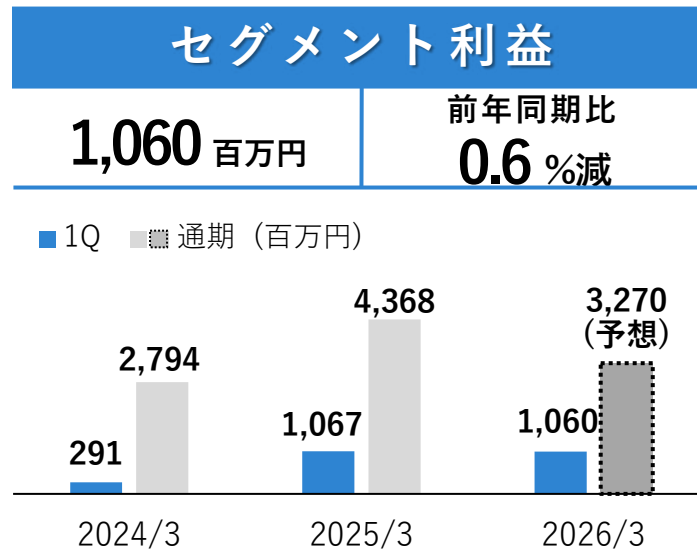
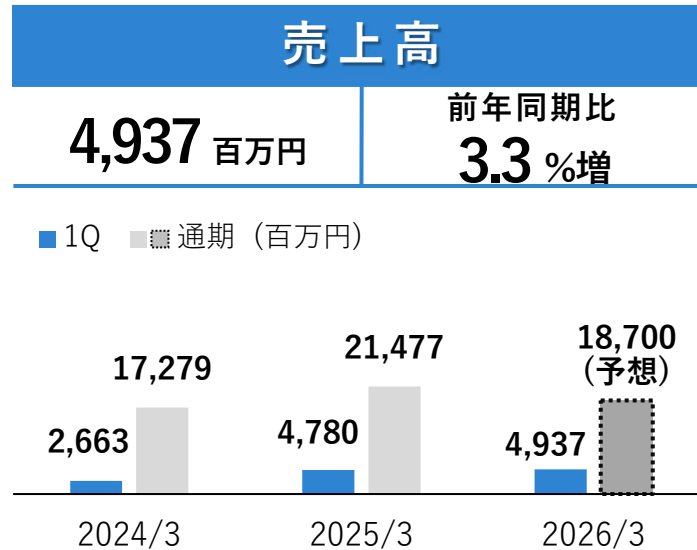
主な市場は北米カジノホテルのゲーミングエリア、欧州のストリートのゲーム場
ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホテルの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売

■主な納入先

スロットマシンメーカー、カジノホテル

■業績概況

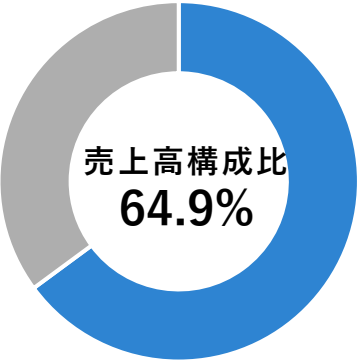
米国関税の引き上げの影響による駆け込み需要に伴い、北米地域を中心にゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットの販売が増加



主な製品



プリンターユニット



売上高構成比
64.9%



紙幣識別機ユニット



カジノホテル現金回収業務
自動化システム



テーブルゲームシステム
(紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載)



■事業概要

流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

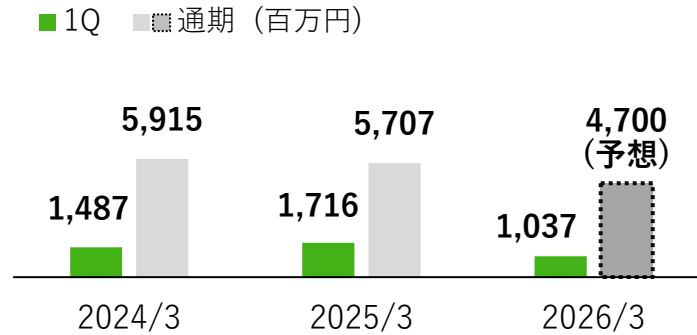
完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）

■業績概況

欧州地域での景況感の軟化を受け、大口顧客に在庫調整の動きが見られたことから、欧州地域向けの紙幣還流ユニットの販売が減少

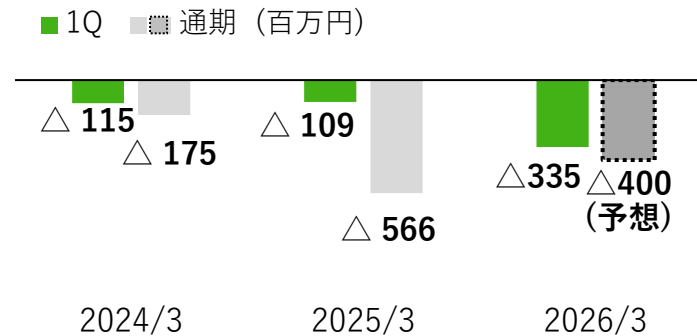
売上高

1,037 百万円 前年同期比
39.6% 減

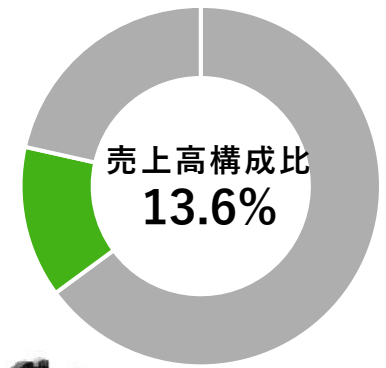


セグメント利益

△335 百万円 前年同期比
—



主な製品



紙幣還流ユニット



紙幣識別機ユニット



自動釣銭機



■事業概要

流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

完成品メーカー

(飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等)

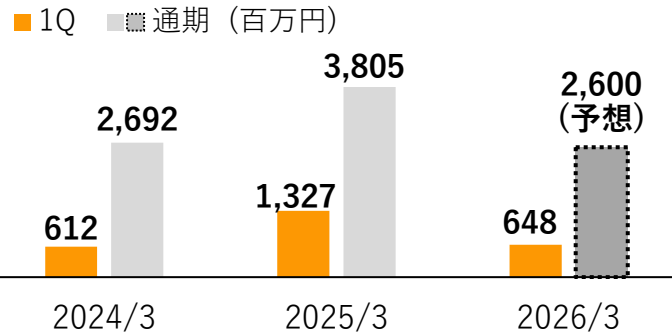
■業績概況

新紙幣発行に伴う更新特需の反動により当社製品の販売が減少

売上高

648 百万円

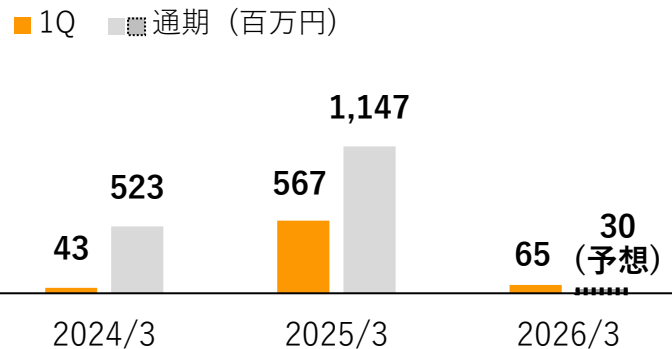
前年同期比
51.1%減



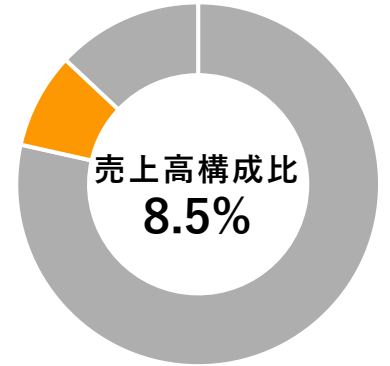
セグメント利益

65 百万円

前年同期比
88.5%減



主な製品



紙幣還流ユニット



キャッシュレス対応
自動精算機



硬貨還流ユニット



■事業概要

パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニットや玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

■主な納入先

パチンコホール

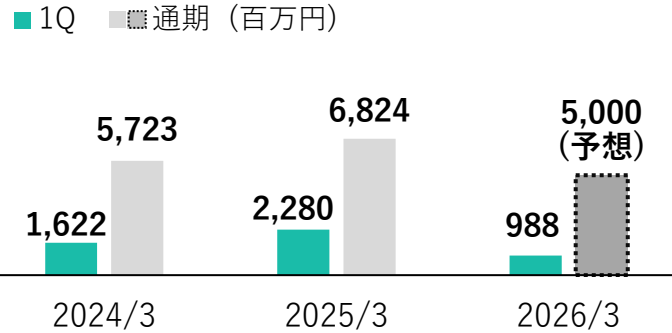
■業績概況

新紙幣発行に伴う更新特需の反動により顧客の設備投資意欲が抑制傾向にあったことで、スマート遊技機専用ユニットを含む主力製品の販売が減少

売上高

988 百万円

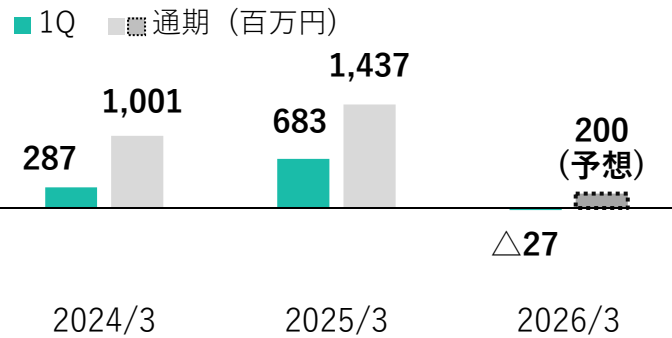
前年同期比
56.7%減



セグメント利益

△27 百万円

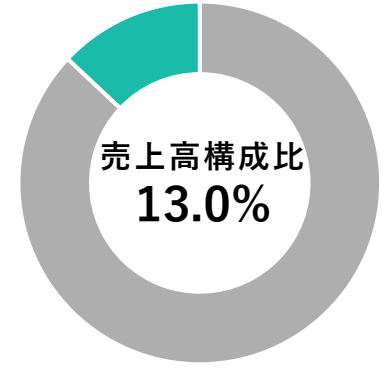
前年同期比
—



主な製品



景品管理POS



紙幣搬送システム



景品払出機



スマート遊技機
専用ユニット

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 当期は、売上高・利益面ともに減収減益を見込む

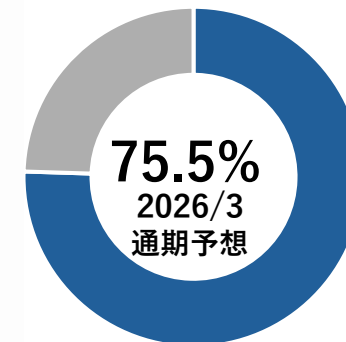
【売上高】 グローバルゲーミングは引き続き堅調さを維持 一方、海外コマースの欧州顧客の在庫調整の影響を見込む
国内の各市場では、新紙幣の改刷需要の反動に伴う販売減少を見込む

【利益】 国内の改刷需要に対応した収益性の高い製品の販売一巡の影響を見込む
一方で、固定資産売却益を特別利益として計上予定

単位：百万円	2025/3						2026/3						前期比 増減			
	上半期		下半期		通期		上半期予想		下半期予想		通期予想					
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比				
売上高	21,253	100.0%	16,562	100.0%	37,815	100.0%	15,300	100.0%	15,700	100.0%	31,000	100.0%	△6,815			
営業利益	3,755	17.7%	1,155	7.0%	4,910	13.0%	800	5.2%	600	3.8%	1,400	4.5%	△3,510			
経常利益	2,993	14.1%	1,683	10.2%	4,676	12.4%	500	3.3%	500	3.2%	1,000	3.2%	△3,676			
当期純利益	2,490	11.7%	1,320	8.0%	3,810	10.1%	2,800	18.3%	400	2.5%	3,200	10.3%	△610			
R O E	-		-		12.6%		-		-		9.7%		△2.9pt			
1株当たり 当期純利益	91.80円		-		140.98円		103.97円		-		118.82円		△22.15円			
平均為替 レート	米ドル	154.09円	149.41円	152.28円	146.04円	140.00円	143.02円	△9.26円	ユーロ	166.22円	163.80円	164.45円	158.40円	155.00円	156.70円	△7.75円

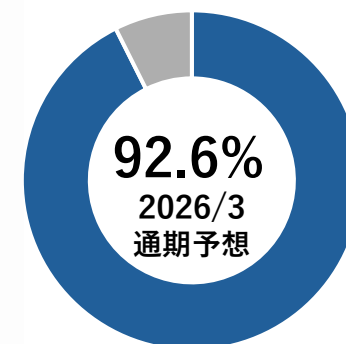
単位：百万円	2025/3			2026/3			前期比 増減額
	上半期	下半期	通期	上半期予想	下半期予想	通期予想	
売上高	21,253	16,562	37,815	15,300	15,700	31,000	△ 6,815
グローバルゲーミング	10,684	10,792	21,477	9,600	9,100	18,700	△ 2,777
海外コマース	3,436	2,270	5,707	2,000	2,700	4,700	△ 1,007
国内コマース	2,422	1,383	3,805	1,200	1,400	2,600	△ 1,205
遊技場向機器	4,710	2,114	6,824	2,500	2,500	5,000	△ 1,824
営業利益	3,755	1,155	4,910	800	600	1,400	△ 3,510
グローバルゲーミング	2,287	2,080	4,368	1,900	1,370	3,270	△ 1,098
海外コマース	△ 172	△ 394	△ 566	△ 380	△ 20	△ 400	+166
国内コマース	954	193	1,147	30	0	30	△ 1,117
遊技場向機器	1,388	48	1,437	100	100	200	△ 1,237
調整額 (各セグメントに配分していない全社費用)	△ 702	△ 772	△ 1,475	△ 850	△ 850	△ 1,700	△ 224

海外売上高比率



(2025/3 通期 71.9%)

海外営業利益比率



(2025/3 通期 59.5%)

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 2026年3月期の配当予想

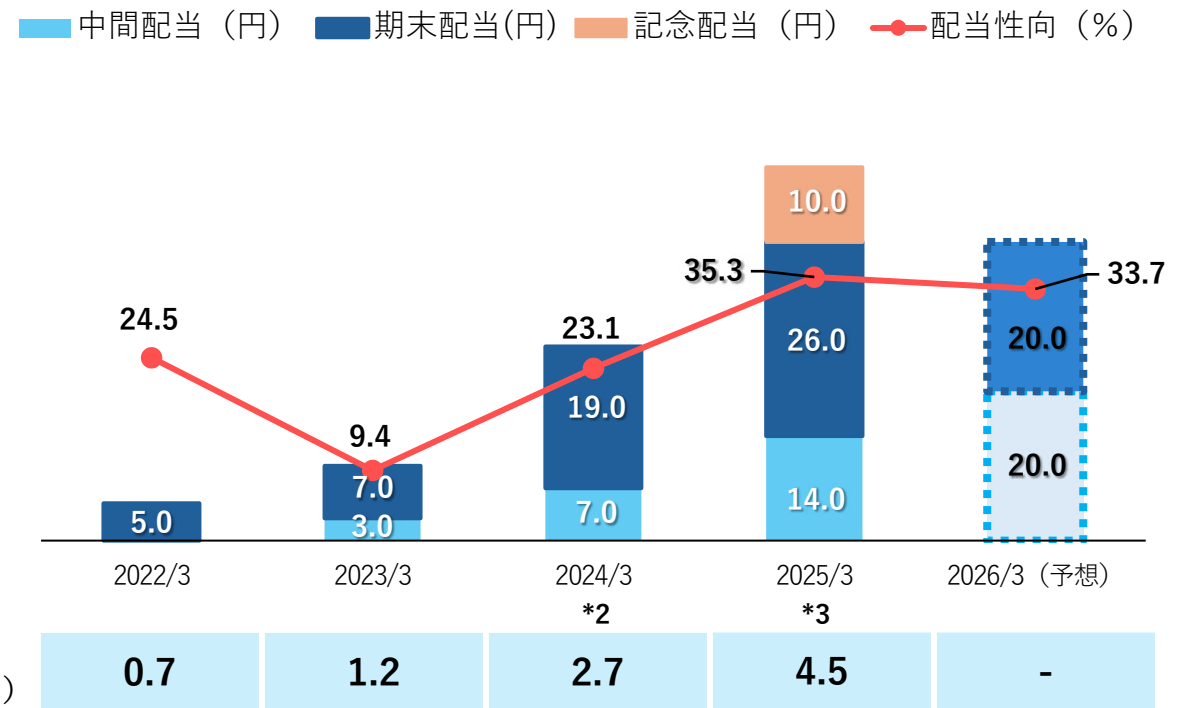
・ 年間普通配当 1株当たり40円

(中間配当1株当たり20円、期末配当1株当たり20円)

配当方針

業績連動型株主還元を継続

- 配当性向（連結）30%以上 *1
- 純資産配当率（連結）2.0%以上



*1 ごく短期的な利益変動要因による影響を除いて決定することがあります。

*2 2024年2月に自己株式の取得（19億円）を実施。

*3 2024年5月に自己株式の取得（15億円）を実施。

■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

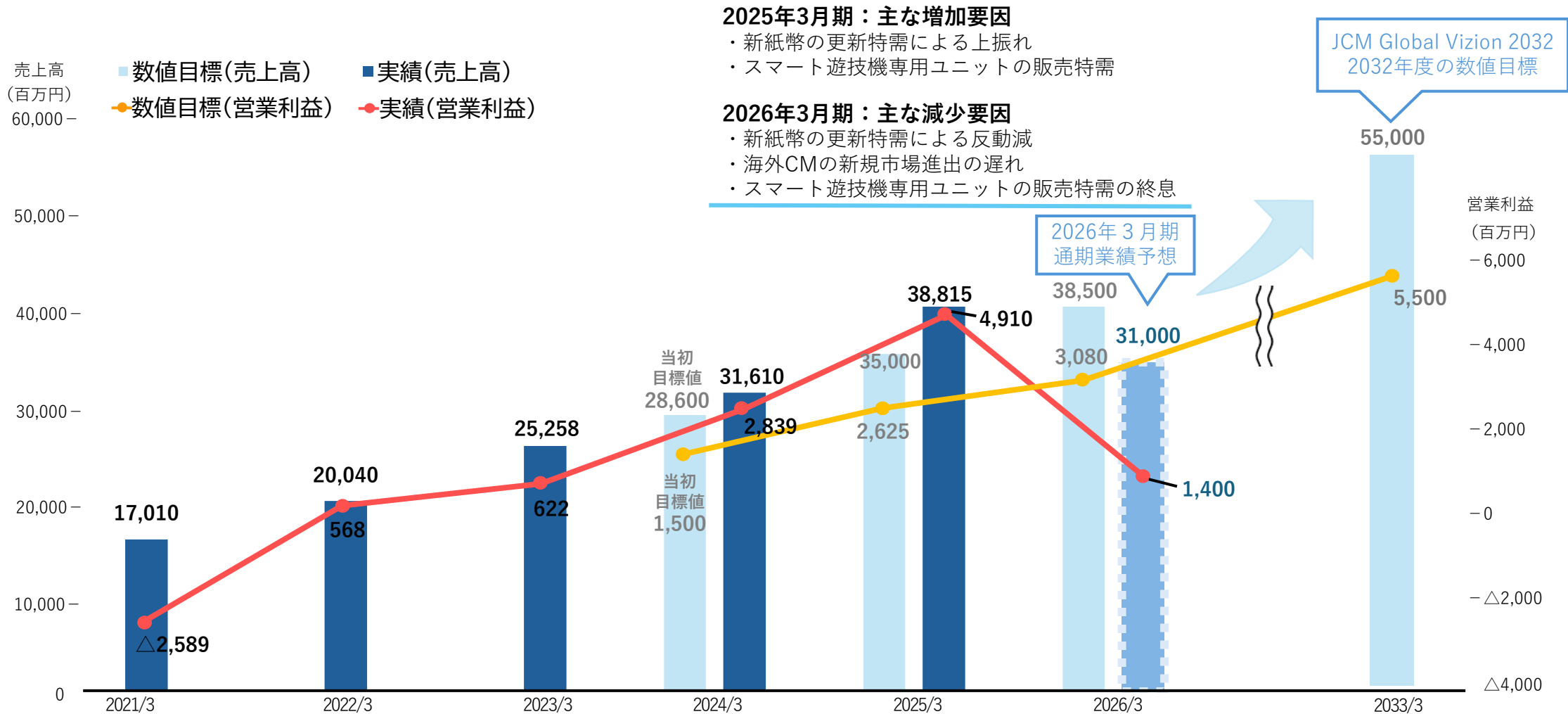
■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■中期経営計画「JCM Global Vizion 2032」(2023年～2025年度)

現在、中期経営計画の見直しを進行中 改定後の計画策定が完了次第、速やかに公表予定



■ 連結業績ハイライト

■ 連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマース
- 国内コマース
- 遊技場向機器

■ 連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

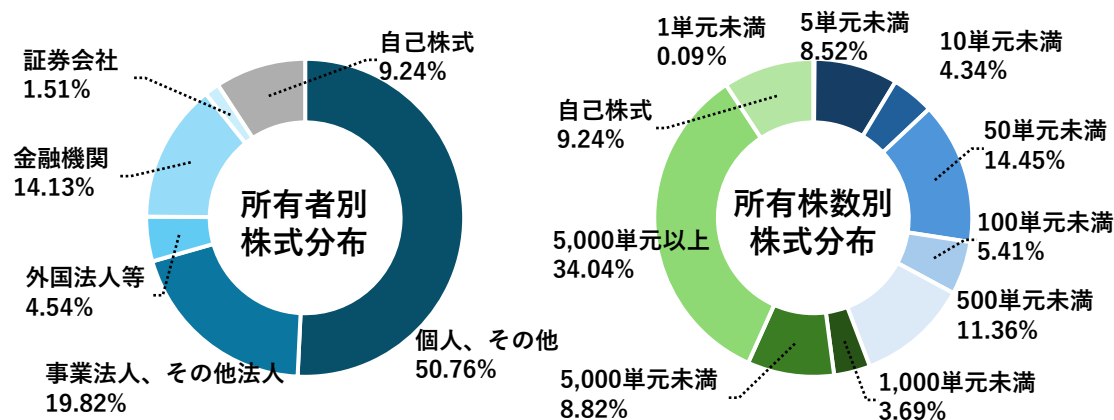
商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長 上東 洋次郎
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号 パークスサウススクエア

上場区分	東証プライム市場
社員数	570名 (2025年3月31日現在)
資本金	22億2,031万円 (2025年3月31日現在)
事業所	本社 (大阪市浪速区)、東京本社 (東京都港区)、 長浜工場 (滋賀県長浜市)
海外拠点	アメリカ (ラスベガス、ダラス)、ブラジル、 ドイツ、タイ、フィリピン

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	23,141名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,275	8.45
上東 洋次郎	1,458	5.41
上東 好子	638	2.37
株式会社りそな銀行	563	2.09
株式会社三井住友銀行	503	1.87
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.61
日本生命保険相互会社	403	1.50
日本金銭機械従業員持株会	325	1.21
BNP PARIBAS FINANCIAL MARKETS	317	1.18



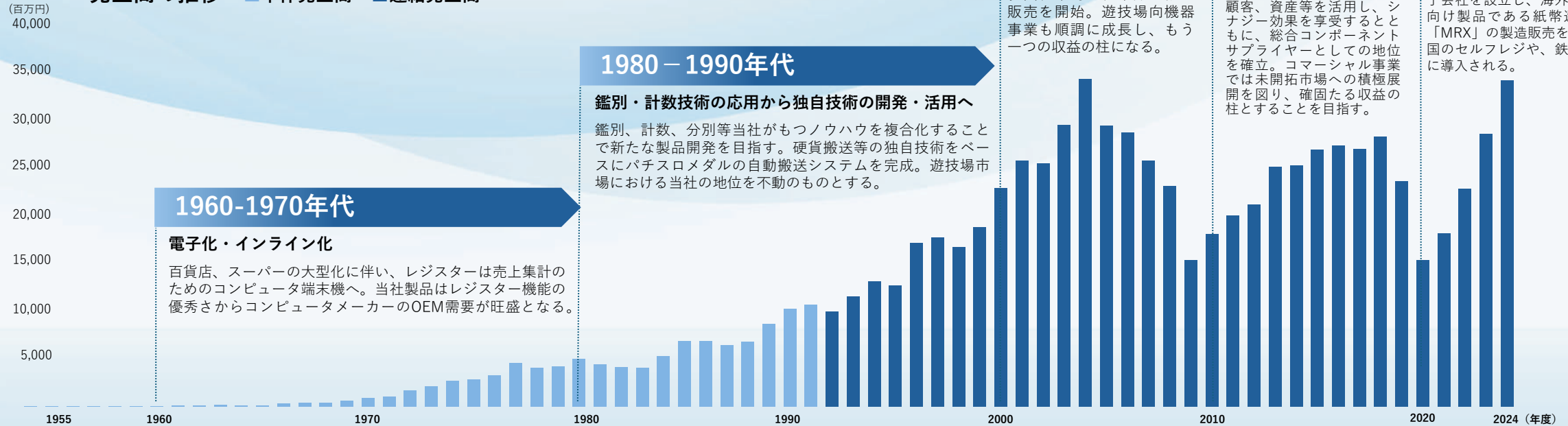
(注) 1. 当社は、自己株式を2,741,926株保有(2025年3月31日現在)しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野を担うメーカーとして、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。これまで世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして培った技術を基に、それぞれの市場に求められる新たな価値を提供できる、国際企業として人々の期待と信頼に応え続けていきます。

売上高の推移

■ 単体売上高 ■ 連結売上高



1960-1970年代

電子化・インライン化

百貨店、スーパーの大型化に伴い、レジスターは売上集計のためのコンピュータ端末機へ。当社製品はレジスター機能の優秀さからコンピュータメーカーのOEM需要が旺盛となる。

1980-1990年代

鑑別・計数技術の応用から独自技術の開発・活用へ

鑑別、計数、分別等当社がもつノウハウを複合化することで新たな製品開発を目指す。硬貨搬送等の独自技術をベースにパチスロメダルの自動搬送システムを完成。遊技場市場における当社の地位を不動のものとする。

2000年代

欧米市場への貨幣処理機器事業の展開/遊技場関連機器のニーズに対応

多国紙幣対応紙幣識別機の販売を開始。遊技場向機器事業も順調に成長し、もう一つの収益の柱になる。

2010年以降

コアとなる識別・搬送技術を追求め、時代を先取りする技術革新につなげる

グローバルゲーミング事業、遊技場向機器事業では、買収・事業譲受けによって新たに取得した製品、市場、顧客、資産等を活用し、シナジー効果を受受するとともに、総合コンポーネントサプライヤーとしての地位を確立。コマース事業では未開拓市場への積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを旨とする。

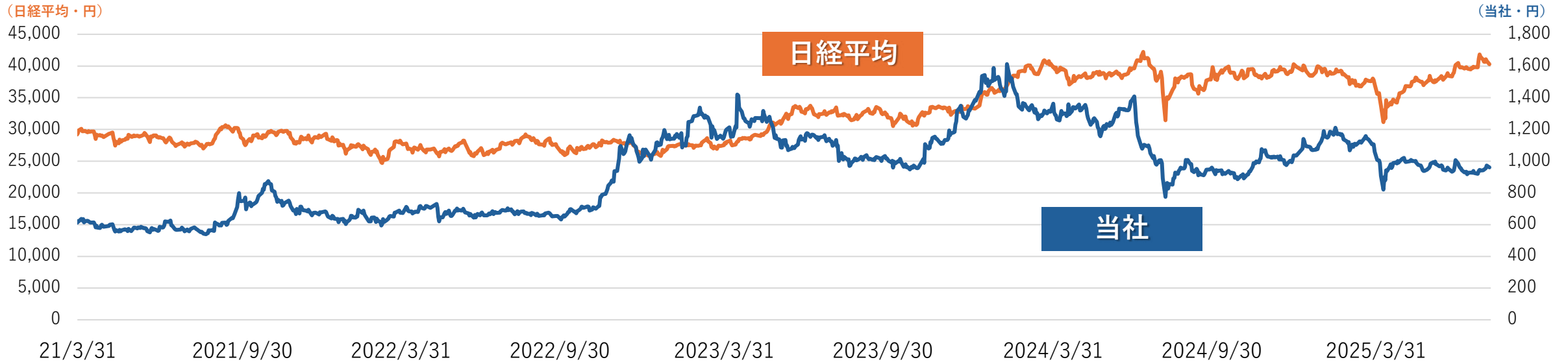
2020年以降

コマース事業の拡大に向けて、新たに子会社を設立、積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを旨とする

最適な生産体制の確立に向け、フィリピンに新たに生産子会社（新工場）を設立。さらに、ゲーミング事業に次ぐ当社の柱となるコマース事業の拡大に向けて、北米（シカゴ）、南米（ブラジルに新たな販売子会社を設立し、海外コマース向け製品である紙幣還流ユニット「MRX」の製造販売を開始。世界各国のセルフレジ、鉄道等の券売機に導入される。



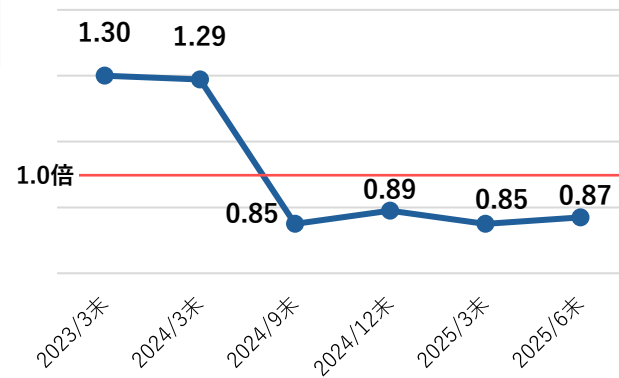
株価の推移



PBR

0.87倍 (2025/6末)

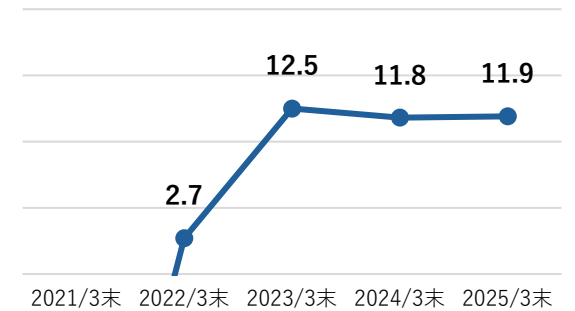
持続的な維持・向上に向けた基準値
1.0倍以上



ROE

11.9% (2025/3末)

中期経営計画目標値
8%以上



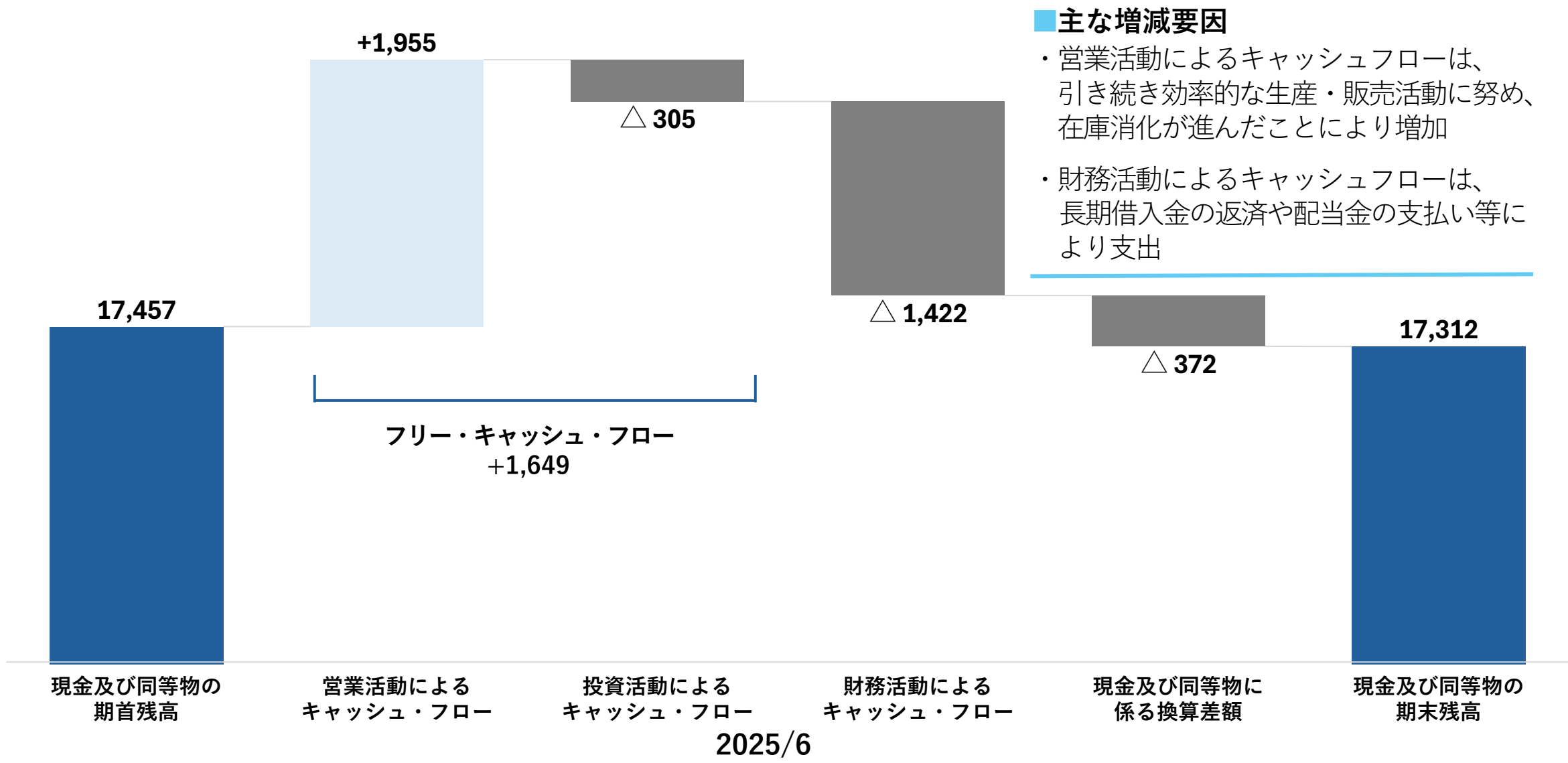
■ 資産、負債及び純資産：△17億42百万円

- 流動資産 △19億54百万円：売上債権、棚卸資産の減少
- 固定負債 △ 4億28百万円：社債・長期借入金の減少
- 純資産 △14億12百万円：利益剰余金の減少

単位：百万円	2024/3末	2025/3末	2025/6末	増減
現預金・有価証券	12,580	17,497	17,350	△ 147
売掛債権	7,056	6,068	5,687	△ 381
棚卸資産	19,564	17,061	15,461	△ 1,600
その他	941	838	1,012	+173
流動資産合計	40,143	41,465	39,510	△ 1,954
有形固定資産	3,950	4,080	4,124	+43
無形固定資産	219	195	174	△ 21
投資その他の資産	3,261	3,540	3,735	+194
固定資産合計	7,431	7,816	8,034	+217
繰延資産その他	123	102	97	△ 5
繰延資産合計	123	102	97	△ 5
資産合計	47,698	49,385	47,642	△ 1,742

単位：百万円	2024/3末	2025/3末	2025/6末	増減
買掛債務	4,583	2,201	2,024	△ 177
短期借入金	1,260	1,500	1,500	+0
その他	3,417	4,366	4,641	+275
流動負債合計	9,260	8,068	8,166	+97
社債・長期借入	9,540	9,120	8,700	△ 420
その他	242	165	157	△ 8
固定負債合計	9,782	9,285	8,857	△ 428
負債合計	19,042	17,354	17,023	△ 330
資本金	2,220	2,220	2,220	+0
資本・利益剰余金	27,335	30,229	29,294	△ 935
その他	△ 900	△ 419	△ 895	△ 476
純資産合計	28,655	32,031	30,619	△ 1,412
負債純資産合計	47,698	49,385	47,642	△ 1,742

単位：百万円



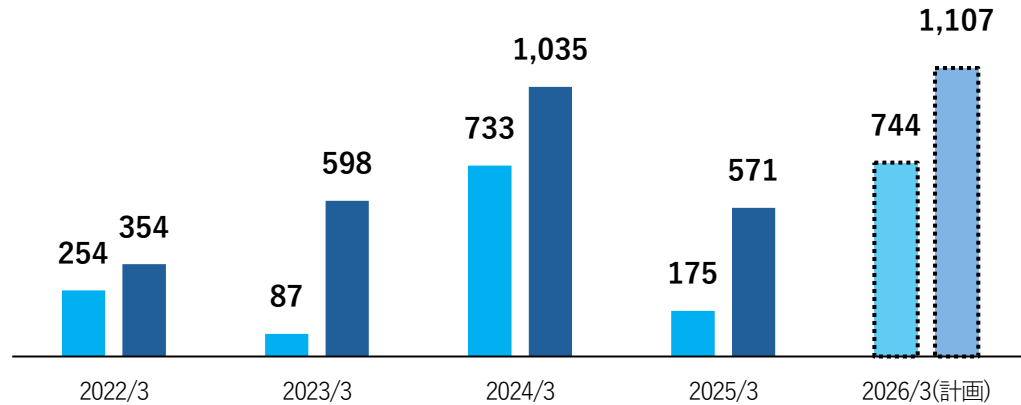
主な増減要因

- ・営業活動によるキャッシュフローは、引き続き効率的な生産・販売活動に努め、在庫消化が進んだことにより増加
- ・財務活動によるキャッシュフローは、長期借入金の返済や配当金の支払い等により支出

2025/6

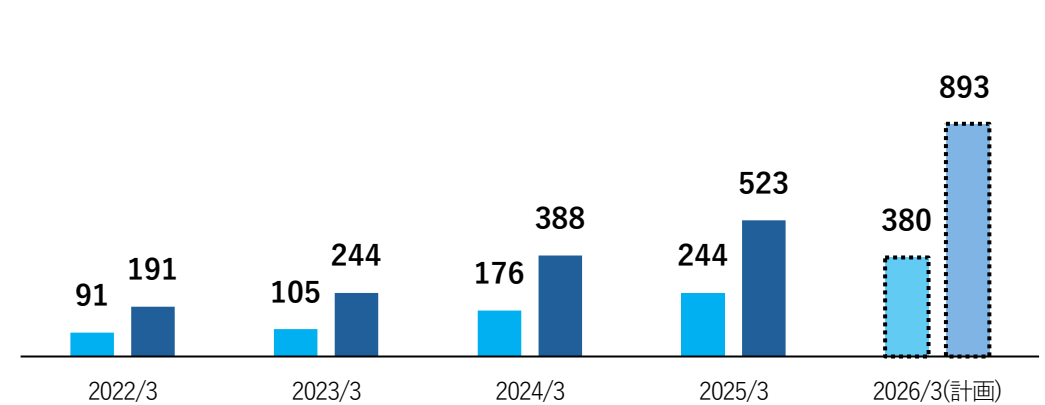
設備投資額

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



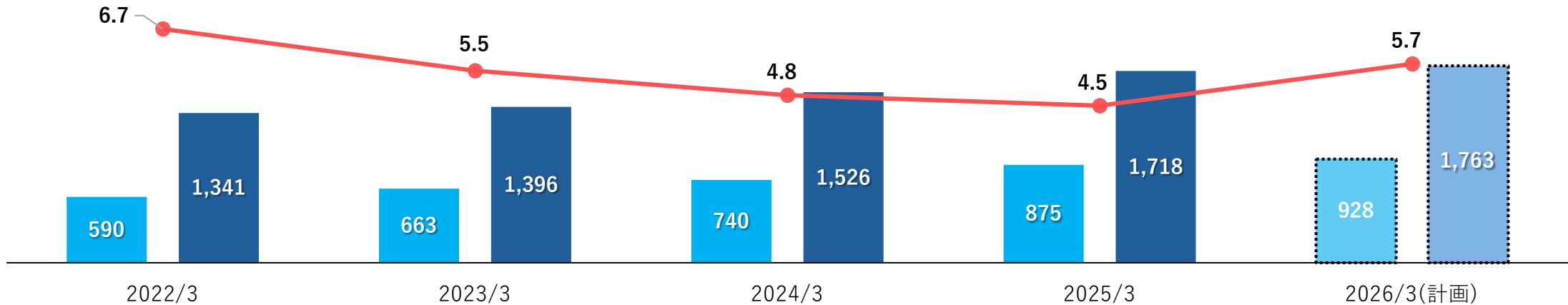
減価償却費 (のれん除く)

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



研究開発費・対売上高比率

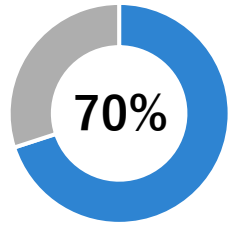
■ 上半期 ■ 通期 (百万円) ● 対売上高比率 (%)



■ 為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/6
期中平均レート	米ドル	110.37円	132.08円	141.20円	152.28円	151.22円
	ユーロ	130.37円	138.58円	153.20円	164.45円	159.38円
売上高	米ドル	87	91	99	149	33
	ユーロ	35	48	59	65	12
営業利益	米ドル	30	11	14	37	9
	ユーロ	5	3	3	6	1
期末日レート	米ドル	122.41円	133.54円	151.42円	149.53円	144.82円
	ユーロ	136.85円	145.76円	163.38円	162.09円	169.73円
営業外損益	米ドル	42	40	33	37	42
	ユーロ	4	4	5	4	4

グローバルゲーミング

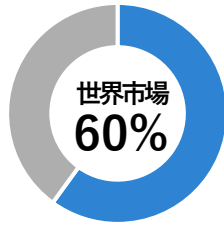


- 競合企業
- ・ Transact (USA)
 - ・ Nanoptix (CAN)

プリンターユニット



紙幣識別機ユニット

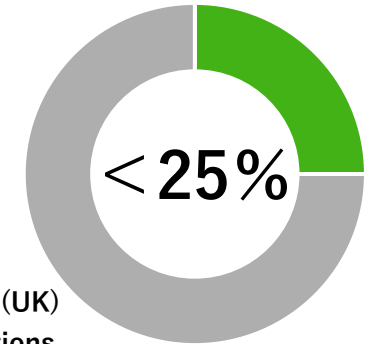


- 競合企業
- ・ Crane payment innovations (MEI、Cash Code、Money Control (USA))
 - ・ Innovative Technology (UK)

海外コマmercial



紙幣還流ユニット



- 競合企業
- ・ Innovative Technology (UK)
 - ・ Crane payment innovations (MEI、Cash Code、Money Control (USA))

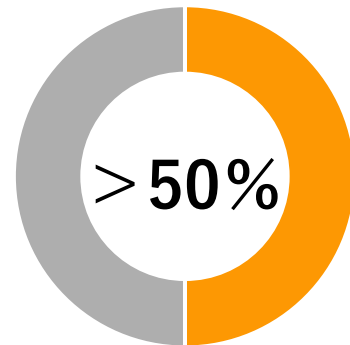
国内コマmercial



紙幣還流ユニット



硬貨還流ユニット



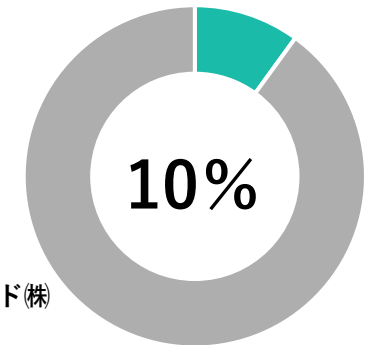
- 競合企業
- ・ グローリー(株)
 - ・ (株)高見沢サイバネティックス

遊技場向機器

スマート遊技機専用ユニット



景品管理POS



- 競合企業
- ・ 日本ゲームカード(株)
 - ・ ダイコク電機(株)
 - ・ グローリーナスカ(株)

グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米国、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しており、現在、北米で約190を超えるゲーミングライセンスを取得し、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。



世界最大のゲーミングショー

Global Gaming Expo
ラスベガス



欧州最大のゲーミングショー

International Casino Exhibition
バルセロナ



アジア最大のゲーミングショー

Global Gaming Expo ASIA
マカオ

■カジノホテル向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。

海外コマース

■コマース市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマース市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、コマース事業に特化した販売子会社を設立し、コマース事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、積極的な販売提案活動に注力しております。



欧州最大の流通業界向け展示会
Euro CIS
ドイツ



北米最大の金融・流通業界向け展示会
National Retail Federation
ニューヨーク



北米最大の小売り業界向け展示会
NACS Show
ラスベガス



南米の金融・流通業界向け展示会
FEBRABAN TECH
ブラジル

■海外コマース市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。

■環境



気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope 1、2について、2025年度までに温室効果ガス排出量40%削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標

(単位：t-CO₂)

2025年度 目標	2018年度 実績比	削減に向けた対応	2023年度 実績 (参考)
640	△40.0%	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル都市ガスの導入検討 省エネルギー性能の高い社屋への本社移転 本社、東京本社および長浜工場での再生可能エネルギーの導入検討 	610

■人的資本



当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績 (2024年3月期)
採用に占める 女性比率	単体	30%以上	38.8%
正社員に占める 女性従業員比率	単体	2032年までに20%	16.6%

当社のサステナビリティの取り組みについては統合報告書にまとめておりますので、下記の当社ウェブサイトをご参照ください。

統合報告書 https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r_annual.html

日本金銭機械株式会社（日本語）

<https://www.jcm-hq.co.jp>

JCM Global（English）

<https://jcmglobal.com>



過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。
「投資家情報」 → 「IRライブラリー」 → 「決算短信・補足説明資料」

お問合せ先： 経営企画本部 広報・IR担当 06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。